



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月4日

上場会社名 日本郵船株式会社 上場取引所 東
コード番号 9101 URL <https://www.nyk.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 貴也
問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 岡田 泰章 TEL 03-3284-5151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト及び機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,812,073	△8.3	100,122	△43.8	165,078	△62.2	146,962	△62.8
2025年3月期第3四半期	1,976,959	10.5	178,149	23.5	436,429	117.9	395,485	157.5

（注）包括利益2026年3月期第3四半期 219,194百万円（△53.5％） 2025年3月期第3四半期 471,696百万円（54.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	347.33	—
2025年3月期第3四半期	878.46	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,980,525	2,954,391	57.9
2025年3月期	4,320,269	2,969,973	67.6

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 2,885,247百万円 2025年3月期 2,918,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	130.00	—	195.00	325.00
2026年3月期	—	115.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	110.00	225.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 85円00銭 記念配当 25円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,390,000	△7.7	120,000	△43.1	195,000	△60.3	210,000	△56.0	499.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Movianto International B.V.、除外 2社 (社名) 日本貨物航空(株) 他1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	434,101,600株	2025年3月期	461,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	23,228,209株	2025年3月期	27,612,504株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	423,126,559株	2025年3月期3Q	450,202,872株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提：

為替レート(第4四半期連結会計期間) 155.00円/US\$、(通期) 150.14円/US\$

燃料油価格 ※(第4四半期連結会計期間) US\$475.08/MT、(通期) US\$534.35/MT

※ 全油種平均消費燃料油価格を基に算出

本業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2～6ページを参照してください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は2026年2月4日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。同説明会の動画や資料等につきましては、速やかに当社ウェブサイト(<https://www.nyk.com/ir/library/result/2025/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
3. その他の情報	13
(1) 四半期毎の業績の推移	13
(2) 為替情報	13
(3) 有利子負債残高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

（単位：億円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	19,769	18,120	△1,648	△8.3%
営業利益	1,781	1,001	△780	△43.8%
経常利益	4,364	1,650	△2,713	△62.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,954	1,469	△2,485	△62.8%

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日までの9ヶ月間）の業績は、売上高1兆8,120億円（前年同期比1,648億円減）、営業利益1,001億円（前年同期比780億円減）、経常利益1,650億円（前年同期比2,713億円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,469億円（前年同期比2,485億円減）となりました。

なお、営業外収益で持分法による投資利益として724億円を計上しました。うち、当社持分法適用会社 OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.（“ONE社”）からの持分法による投資利益計上額は157億円となります。

当第3四半期連結累計期間の為替レートと消費燃料油価格の変動は以下のとおりです。

	前第3四半期 （9ヶ月）	当第3四半期 （9ヶ月）	増減額
平均為替レート	152.27円/US\$	148.52円/US\$	△3.75円
平均消費燃料油価格	US\$624.74/MT	US\$553.11/MT	△US\$71.64

（注） 為替レート・消費燃料油価格とも、当社社内値です。

（セグメント別概況）

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

（単位：億円）

		売上高				経常利益		
		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
ロ ジ ス テ ィ & ク ス 事 業	定期船事業	1,370	1,358	△12	△0.9%	2,502	385	△2,117
	航空運送事業	1,420	411	△1,009	△71.1%	190	21	△169
	物流事業	6,144	5,946	△198	△3.2%	207	97	△109
自動車事業		4,057	3,954	△103	△2.6%	916	778	△138
ドライバルク事業		4,756	4,140	△616	△13.0%	218	22	△196
エネルギー事業		1,349	1,707	358	26.5%	323	422	98
その他事業		1,538	1,320	△217	△14.2%	70	10	△60

<定期船事業>

コンテナ船事業：米中関税の暫定合意を受けて第1四半期に運賃市況は一時的に上昇しましたが、新造船の竣工による船舶供給量の増加が続き、第2四半期以降の運賃市況は下落しました。ONE社においても、運賃下落の影響を受けて利益水準は前年同期を下回りました。

ターミナル関連事業：国内ターミナルでは前年同期比で取扱量が減少しました。

以上の結果、定期船事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

<航空運送事業>

2025年8月1日を効力発生日として、日本貨物航空株式会社とANAホールディングス株式会社との株式交換が完了したことにより、2026年3月期第2四半期以降の業績には日本貨物航空株式会社を含みません。

以上の結果、航空運送事業では前年同期比で減収減益となりました。

＜物流事業＞

航空貨物取扱事業：取扱量は前年同期を下回った一方、上期に仕入価格が下落したことで利益水準は前年同期比で上昇しました。

海上貨物取扱事業：荷動きは堅調に推移し、前年同期比で取扱量は増加したものの、運賃水準の低下及びインフレによるコストの上昇等により利益水準は前年同期比で下落しました。

ロジスティクス事業：米中関税政策等の影響による経済見通しの不透明さから、主要顧客の荷量が減少した結果、利益水準は前年同期比で下落しました。

以上の結果、物流事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

＜自動車事業＞

自動車船事業：輸送台数は前年同期並みの水準を維持しました。一方で、為替が前年同期と比較して円高に推移したことによる収入減及びインフレによる荷役費等のコスト上昇の影響を受けました。

自動車物流事業：欧州及び東南アジアの一部地域では前年同期比で取扱高が増加となった一方で、中国の一部地域では前年同期比で取扱高が減少しました。

以上の結果、自動車事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

＜ドライバルク事業＞

各船型の市況は前年同期比で上昇しました。

ドライバルク事業全体では、前年同期比で円高に推移したことや、一部船型における収益性の低下の影響を受けました。

以上の結果、前年同期比で減収減益となりました。

＜エネルギー事業＞

VLCC（大型原油タンカー）：第2四半期以降のOPECプラスの減産緩和や大西洋域の貨物需要の増加等により船腹需給が引き締まり、市況は前年同期比で上昇しました。

VLGC（大型LPGタンカー）：米中関税政策等の影響により、トレードパターンが変化したことで船腹需給が引き締まり、市況は前年同期比で上昇しました。

石油製品タンカー：景気減退による石油製品の需要減少に伴う荷動き鈍化等により、市況は前年同期比で下落しました。

LNG船：安定的な収益を生む長期契約に支えられて順調に推移しました。

海洋事業：新規のFPSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）の稼働開始に伴い、一過性の利益を計上しました。既存のFPSO、シャトルタンカーは安定的に推移しました。

以上の結果、エネルギー事業全体では前年同期比で増収増益となりました。

＜その他事業＞

船舶・技術事業：燃料油販売事業は、燃料油価格の低下や販売数量の減少に伴い、低調に推移しました。

客船事業：飛鳥Ⅱ、飛鳥Ⅲともに順調にクルーズを催行したものの、飛鳥Ⅲの就航に向けた準備費用を計上しました。

以上の結果、その他事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産はのれんや船舶の増加等により、前連結会計年度末に比べ6,602億円増加し、4兆9,805億円となりました。有利子負債は短期借入金の増加等により4,891億円増加して1兆2,275億円となり、負債合計額も前連結会計年度末に比べ6,758億円増加し、2兆261億円となりました。純資産の部では、利益剰余金が1,154億円減少し、株主資本とその他の包括利益累計額の合計である自己資本が2兆8,852億円となり、これに非支配株主持分691億円を加えた純資産の合計は2兆9,543億円となりました。これらにより、有利子負債自己資本比率（D/Eレシオ）は0.43に、また自己資本比率は57.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①連結業績予想

<定期船事業>

コンテナ船事業：下期全体としては短期運賃について前回の想定と同水準を見通し、通期の利益水準も前回予想と同程度を見込みます。

<物流事業>

航空貨物取扱事業：前回予想と同程度の利益水準を見込んでいます。

海上貨物取扱事業：下期を通じて市況は前回想定を下回る水準となることを見通し、利益水準は前回予想を下回ることを見込んでいます。

ロジスティクス事業：米中関税政策等の影響による主要顧客の荷量の減少が継続することを見通し、利益水準は前回予想を下回ることを見込んでいます。

<自動車事業>

堅調な輸送需要に加え、米国による追加入港料の徴収時期が延期されたことから、通期の利益水準は前回予想を上回る見込みです。

<ドライバルク事業>

下期を通じて市況は前回の想定を上回る水準となることを見通しますが、通期の利益水準は前回予想と同程度と見込んでいます。

<エネルギー事業>

VLCC・VLGC：市況は第3四半期の好調な水準を維持することを見込み、前回想定を上回る見通しです。

LNG船：中長期契約による安定収益に支えられ、堅調に推移する見通しです。

以上に鑑み、通期の業績予想を以下のとおり見直しました。

（単位：億円）

2026年3月期 連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回（2025年11月6日）	23,500	1,200	1,900	2,100
今回予想	23,900	1,200	1,950	2,100
通期 増減額	400	0	50	0
増減率（%）	1.7%	0.0%	2.6%	0.0%

業績予想の前提：

為替レート（第4四半期連結会計期間）155.00円/US\$、（通期）150.14円/US\$

燃料油価格 ※（第4四半期連結会計期間）US\$475.08/MT、（通期）US\$534.35/MT

※ 全油種平均消費燃料油価格を基に算出

②配当予想

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向40%を目安に1株当たりの配当下限金額を年間200円として、業績の見通し等を総合的に勘案して利益配分を決定します。また、投資機会と事業環境を勘案したうえで、自己株式の取得を含む機動的な追加還元策の実施を判断します。

この方針に基づき、当事業年度の間配当金は1株当たり115円にて実施しました。期末配当金（普通配当）は前回の予想から変更せず1株当たり85円とする予定です。

また、2025年10月に創業140周年を迎えたことを記念するとともに、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の意を表すため1株当たり25円の記念配当を実施することを予定しています。これにより、2026年3月期の年間配当金は、普通配当と合わせ1株当たり年間225円（中間配当金：1株当たり115円、期末配当金：1株当たり110円（うち普通配当1株当たり85円、記念配当1株当たり25円））を予定しております。

また自己株式の取得については、取得価額の総額（上限）を1,500億円、取得する株式の総数（上限）を48百万株、株式取得期間を2025年5月9日から2026年4月30日として実施することを決定し、2026年1月末時点までに23,486,800株を取得完了しています。取得した自己株式は原則として消却することを予定しています。なお、当事業年度の配当金は、いずれも2026年1月末までに取得した自己株式を除いた株式数に基づくものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,012	221,192
受取手形、営業未収入金及び契約資産	349,821	417,422
棚卸資産	64,641	61,694
繰延及び前払費用	31,297	48,742
その他	97,258	137,477
貸倒引当金	△2,696	△3,423
流動資産合計	696,334	883,105
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	753,731	878,202
建物及び構築物（純額）	158,322	245,693
航空機（純額）	82,255	—
機械装置及び運搬具（純額）	32,785	55,595
器具及び備品（純額）	9,462	10,683
土地	75,219	120,355
建設仮勘定	174,690	242,147
その他（純額）	8,888	13,003
有形固定資産合計	1,295,356	1,565,681
無形固定資産		
借地権	5,683	5,849
ソフトウェア	6,911	7,096
のれん	27,168	254,687
その他	18,531	30,518
無形固定資産合計	58,294	298,152
投資その他の資産		
投資有価証券	1,987,760	1,930,544
長期貸付金	37,767	49,299
退職給付に係る資産	159,211	158,764
繰延税金資産	11,097	10,642
その他	79,759	89,383
貸倒引当金	△5,607	△5,507
投資その他の資産合計	2,269,988	2,233,128
固定資産合計	3,623,640	4,096,962
繰延資産	293	457
資産合計	4,320,269	4,980,525

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	231,949	267,404
1年内償還予定の社債	—	20,000
短期借入金	54,412	270,704
リース債務	26,894	37,433
未払法人税等	20,797	20,351
契約負債	54,047	61,951
賞与引当金	20,814	15,404
役員賞与引当金	476	456
株式給付引当金	539	172
契約損失引当金	978	640
その他	112,195	236,617
流動負債合計	523,106	931,137
固定負債		
社債	99,000	122,000
長期借入金	465,763	553,361
リース債務	92,392	224,089
繰延税金負債	85,200	110,124
退職給付に係る負債	16,472	17,587
役員退職慰労引当金	791	763
株式給付引当金	—	63
特別修繕引当金	28,736	32,443
契約損失引当金	2,850	1,153
事業再編関連引当金	68	61
その他	35,913	33,346
固定負債合計	827,189	1,094,996
負債合計	1,350,295	2,026,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,319	144,319
資本剰余金	39,009	40,013
利益剰余金	2,293,314	2,177,821
自己株式	△131,968	△117,375
株主資本合計	2,344,675	2,244,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,815	69,116
繰延ヘッジ損益	36,833	26,468
為替換算調整勘定	421,267	493,577
退職給付に係る調整累計額	59,284	51,306
その他の包括利益累計額合計	574,200	640,468
非支配株主持分	51,097	69,144
純資産合計	2,969,973	2,954,391
負債純資産合計	4,320,269	4,980,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,976,959	1,812,073
売上原価	1,608,861	1,499,044
売上総利益	368,098	313,028
販売費及び一般管理費	189,949	212,905
営業利益	178,149	100,122
営業外収益		
受取利息	4,996	5,163
受取配当金	7,190	8,446
持分法による投資利益	263,178	72,403
その他	7,096	3,203
営業外収益合計	282,461	89,217
営業外費用		
支払利息	15,735	15,328
為替差損	6,487	3,255
その他	1,957	5,677
営業外費用合計	24,181	24,261
経常利益	436,429	165,078
特別利益		
固定資産売却益	13,006	12,905
関係会社株式売却益	35	9,800
投資有価証券売却益	1,071	7,280
その他	1,748	5,455
特別利益合計	15,862	35,442
特別損失		
固定資産売却損	20	124
関係会社株式交換損	—	7,057
その他	4,177	4,440
特別損失合計	4,198	11,622
税金等調整前四半期純利益	448,093	188,898
法人税等	47,896	39,112
四半期純利益	400,196	149,786
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,710	2,823
親会社株主に帰属する四半期純利益	395,485	146,962

四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	400,196	149,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,391	12,062
繰延ヘッジ損益	4,468	2,472
為替換算調整勘定	18,466	50,271
退職給付に係る調整額	△10,840	△8,000
持分法適用会社に対する持分相当額	53,014	12,601
その他の包括利益合計	71,500	69,407
四半期包括利益	471,696	219,194
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,732	212,634
非支配株主に係る四半期包括利益	5,964	6,559

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			自動車事業	ドライバルク事業	エネルギー事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船事業	航空運送事業	物流事業							
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	132,603	137,047	611,924	405,394	471,372	134,630	83,985	1,976,959	—	1,976,959
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,463	5,035	2,574	394	4,257	350	69,902	86,978	△86,978	—
計	137,066	142,083	614,499	405,789	475,629	134,981	153,887	2,063,937	△86,978	1,976,959
セグメント利益又は損失(△)	250,250	19,086	20,722	91,673	21,883	32,385	7,040	443,042	△6,612	436,429

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整47百万円、全社費用△6,659百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			自動車事業	ドライバルク事業	エネルギー事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船事業	航空運送事業	物流事業							
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	131,164	39,616	592,361	394,922	408,114	170,425	75,467	1,812,073	—	1,812,073
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,681	1,485	2,241	517	5,895	365	56,630	71,816	△71,816	—
計	135,846	41,102	594,603	395,440	414,009	170,790	132,097	1,883,890	△71,816	1,812,073
セグメント利益又は損失(△)	38,500	2,158	9,779	77,807	2,275	42,221	1,015	173,759	△8,681	165,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整137百万円、全社費用△8,818百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である日本貨物航空株式会社の全株式の株式交換を、2025年8月1日に実施しました。これにより「航空運送事業」において、報告セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ120,316百万円減少しています。

また、「物流事業」において、欧州物流企業Waldenグループのヘルスケア物流事業の買収を目的としてMovianto International B.V.の全株式を取得しました。これにより報告セグメントの資産の金額が前連結会計年度の末日に比べ505,977百万円増加しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」において、当第3四半期連結累計期間に欧州物流企業Waldenグループのヘルスケア物流事業の買収を目的としてMovianto International B.V.の全株式を取得したことにより、のれんの金額が約2,000億円増加しております。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	114,543百万円	129,178百万円

3. その他の情報

(1) 四半期毎の業績の推移

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2025年4月1日 至 2025年6月30日	自 2025年7月1日 至 2025年9月30日	自 2025年10月1日 至 2025年12月31日	自 2026年1月1日 至 2026年3月31日
売上高	百万円 600,926	百万円 581,174	百万円 629,971	百万円
営業損益	37,788	30,258	32,076	
経常損益	59,755	67,078	38,244	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	52,078	50,173	44,710	
総資産	4,311,557	4,380,465	4,980,525	
純資産	2,841,408	2,893,188	2,954,391	

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	自 2024年7月1日 至 2024年9月30日	自 2024年10月1日 至 2024年12月31日	自 2025年1月1日 至 2025年3月31日
売上高	百万円 651,714	百万円 665,101	百万円 660,143	百万円 611,741
営業損益	65,878	49,749	62,521	32,670
経常損益	125,787	163,452	147,189	54,437
親会社株主に帰属する 四半期純損益	110,234	155,658	129,593	82,222
総資産	4,336,689	4,178,867	4,430,962	4,320,269
純資産	2,884,436	2,824,013	2,965,027	2,969,973

(注) 上記各四半期毎の業績(売上高・営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する四半期純損益)は、第1四半期連結累計期間、6ヶ月間累計(第2四半期連結累計期間)、9ヶ月間累計(第3四半期連結累計期間)、12ヶ月間累計(通期)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しています。

(2) 為替情報

	前第3四半期 (2024年12月期)	当第3四半期 (2025年12月期)	増減額	前期 (2025年3月期)
期中平均レート	152.27円/US\$	148.52円/US\$	△3.75円	152.73円/US\$
期末レート	158.18円/US\$	156.56円/US\$	△1.62円	149.52円/US\$

(3) 有利子負債残高

(単位：百万円)

	前期 (2025年3月期)	当第3四半期 (2025年12月期)	増減
借入金	520,176	824,065	303,889
社債	99,000	142,000	43,000
リース債務	119,286	261,523	142,237
合 計	738,462	1,227,589	489,126